

ひらら 平良港港湾計画（改訂）

1 平良港への要請

平良港は、沖縄本島から南西約 290kmにある宮古島の西部に位置し、古くから宮古群島と沖縄本島等の交流の窓口として、重要な役割を果たしてきた。昭和 47 年5月の沖縄県の本土復帰に伴い、平良市が港湾管理者となり、重要港湾に指定された。

将来においても平良港では、宮古群島の物流・人流の拠点として、または、交流拠点としてさらなる港湾機能の強化が求められており、以下の要請がある。

本島や石垣、台湾等の幹線航路に就航するフェリー、RORO船は貨物のユニット化や船舶の高速化に対応して大型化している。しかし、水域が狭小で、かつ岸壁法線が風軸に対して直交する方向にあり、接岸操船が難しいため、冬季風浪が厳しい状況では、抜港や接岸遅延等が発生している。このため、水域の拡張や岸壁の改修が求められている。

さらに、鉱産品等の海外依存の高まりに伴う就航船舶の大型化への対応も求められている。

離島フェリーについても、船舶が大型化したことから、これに対応した施設整備が求められている。

また、宮古島から約7km西方に位置する伊良部島への架橋事業が平成 24 年度の開通を目指して進められていることから、将来の交通体系が大きく変わることになる。これにより現在フェリーを利用している貨物輸送もトラック輸送に変更されることから、同架橋に対応した臨港道路の整備が求められている。

交流機能の強化や観光産業に資する港という観点からは、アジア地域におけるクルーズの適地である沖縄において、平良港もその寄港地の一つであることから、外国からのクルーズ船を受入れる国際交流機能の強化が求められている。特に近年はクルーズ船の大型化が著しいことからその対応も必要となっている。さらに、クルーズ船寄港時のイベント等に対応した緑地の整備も求められている。

また、平良港の港内では比較的良好な水域環境が保たれており、こうした水域やこれまで整備してきた緑地、海浜等は圏民にとって貴重な環境資産となっている。こうした自然環境を守り、育てていくため、今後も良好な水域環境の保全に努めるとともに、緑地空間の積極的な拡充が求められている。

安全な港づくりの観点からは、大規模地震発生時における緊急物資の輸送や地域住民等の安全確保を目的とした防災機能の強化が必要である。

一方、市民においては、親しみやすい港湾としての整備を求めており、交流機能や親水機能等、緑地の整備やウォーターフロントの特性を生かした交流空間の整備が課題となっている。

2 計画の基本方針

宮古圏域の地域経済や住民の生活の安定・向上に貢献するとともに、物流・交流・環境・安全と多岐に渡る役割を担う港湾を実現するため、平成 30 年代前半を目標年次として、以下の港湾計画の基本方針を定め、港湾計画を改訂する。

1) 安定的な物流機能の確保

- ・就航率の向上等による、安定的な輸送の確保

2) 公共貨物取扱機能の拡充・強化

- ・円滑な荷捌きの確保
- ・物流と人流の動線の分離による、安全性の確保

3) 交流機能の強化

- ・国際定期クルーズへの対応機能の強化

4) 大規模地震対策施設の適正な配置

- ・災害時における物資の緊急輸送拠点の確保

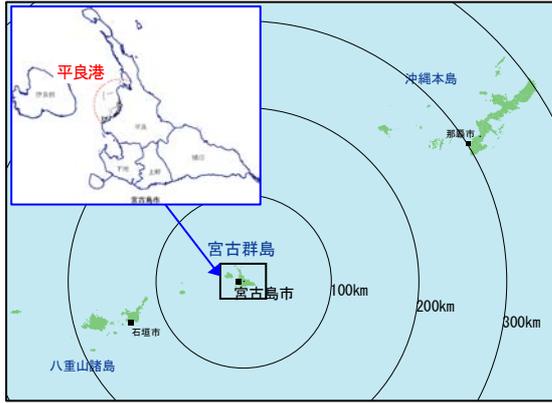
5) 危険物取扱施設の適正な配置

- ・市街地近くに立地する危険物取扱施設の移転
- ・新たな産業の立地要請への対応機能の強化



平良港港湾管理者: 宮古島市港湾課
TEL:0980-72-4876 FAX:0980-72-0634

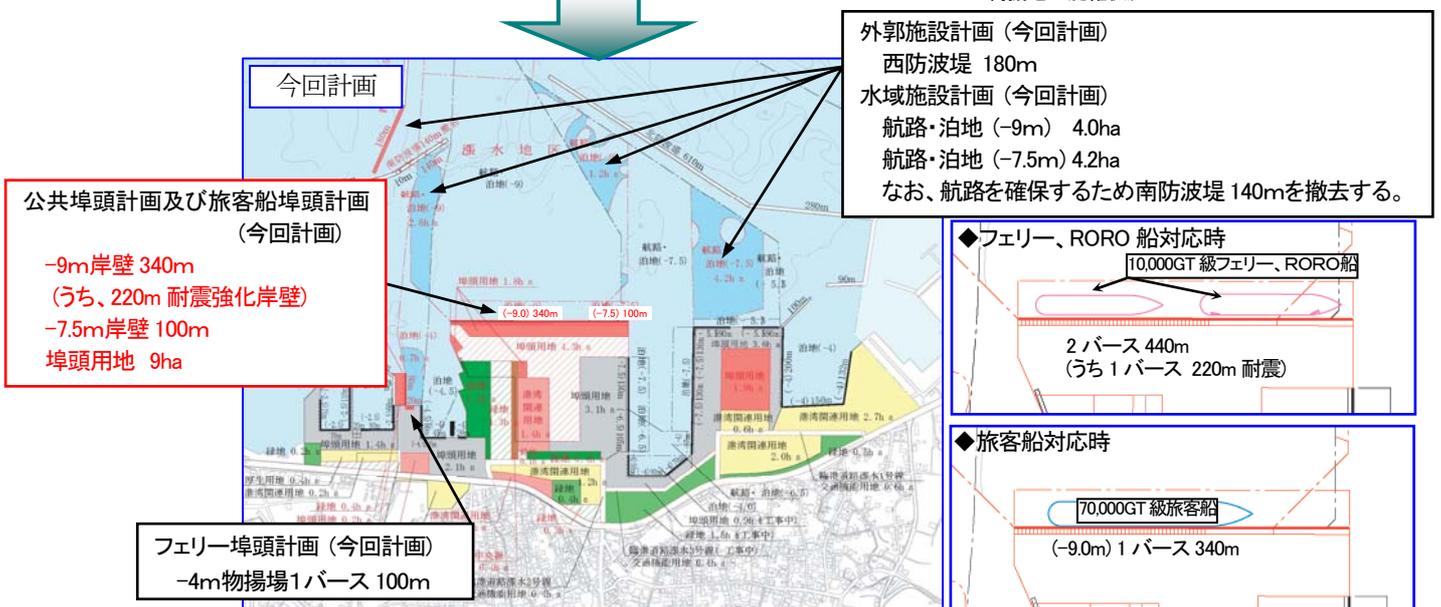
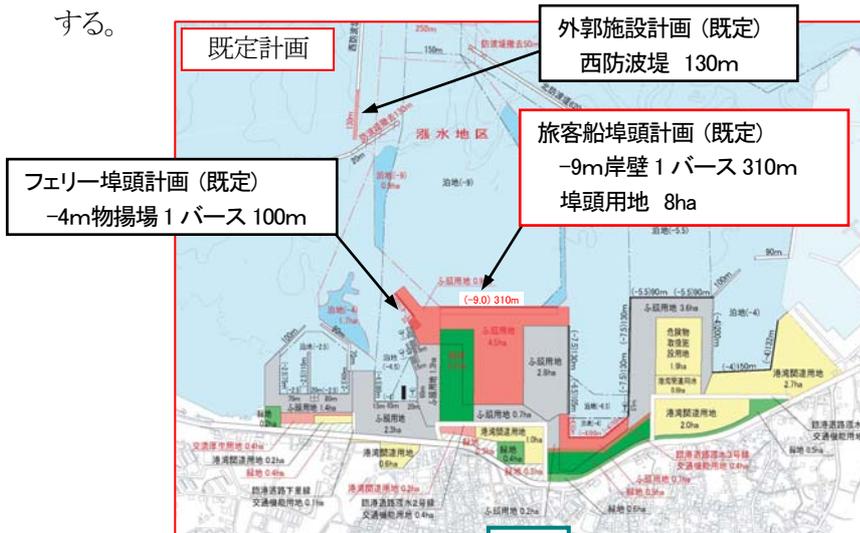
3 平良港の位置



4 主な計画内容

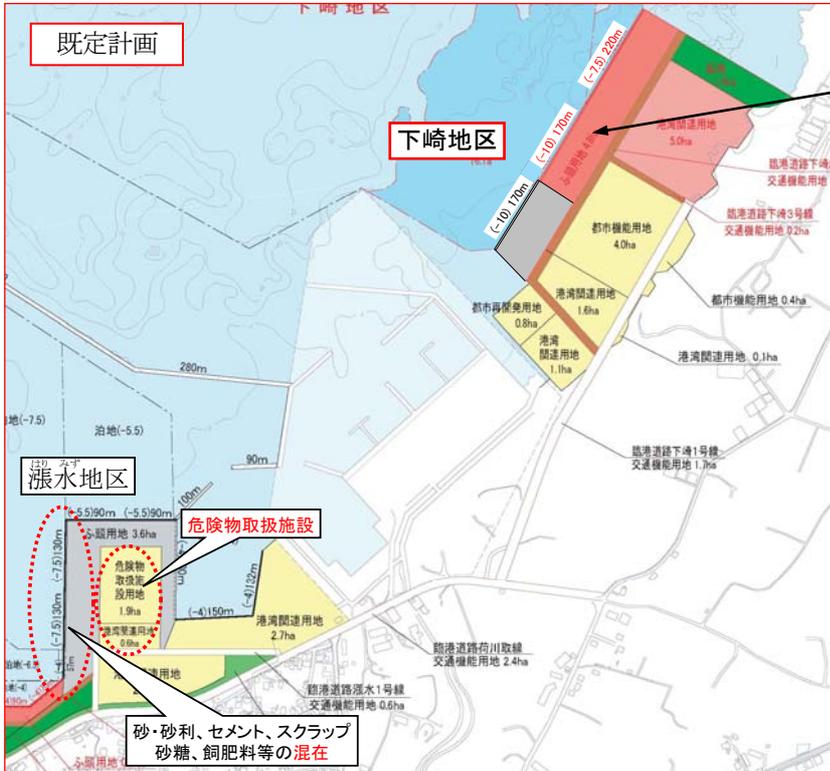
(1) 漲水地区

- ① 定期フェリー及びRORO船の安定的な輸送を行うため、公共埠頭(旅客船埠頭と共用)を計画する。
- ② 安全かつ円滑な荷捌きを行うため、埠頭用地の拡張を計画する。
- ③ 大型クルーズ船の寄港に対応するため、旅客船埠頭(定期フェリー、RORO船用の公共埠頭と共用)を計画する。
- ④ 災害時の緊急物資の受け入れ等に円滑に対応するため、市街地に近い漲水地区に耐震強化岸壁を計画する。

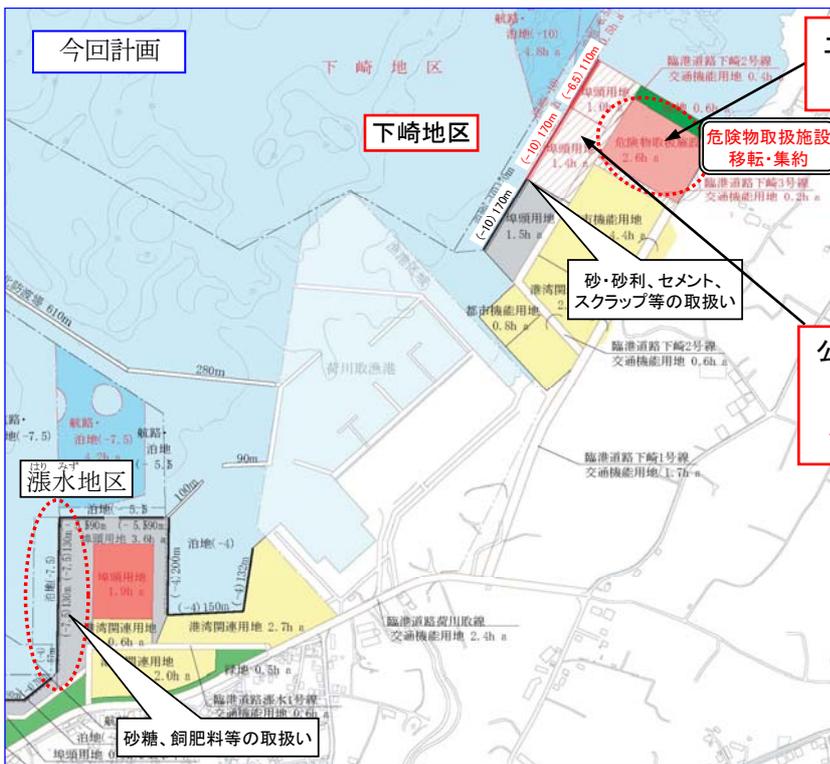


(2) 下崎地区

- ① 砂・砂利、セメント、スクラップ等のバルク貨物取り扱いを下崎地区に集約するため、公共埠頭(-10m 岸壁1バース)を計画する。
- ② 石油、LPG等の危険物取り扱いを下崎地区に移転するため、公共埠頭(-6.5m 岸壁1バース)及び危険物取扱施設用地を計画する。



公共埠頭計画
 -10m岸壁 2 バース 340m
 (うち、1バース 170m供用中)
 -7.5m岸壁 1 バース 220m(耐震)

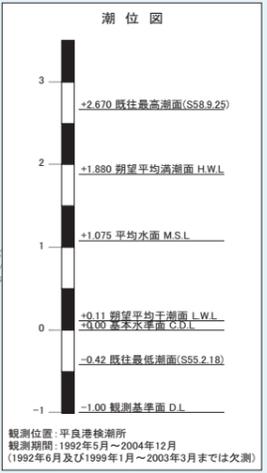
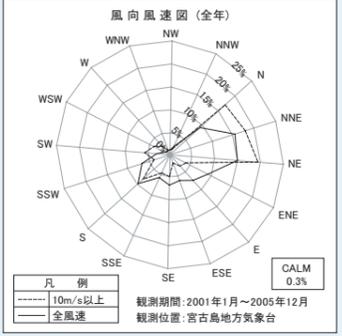
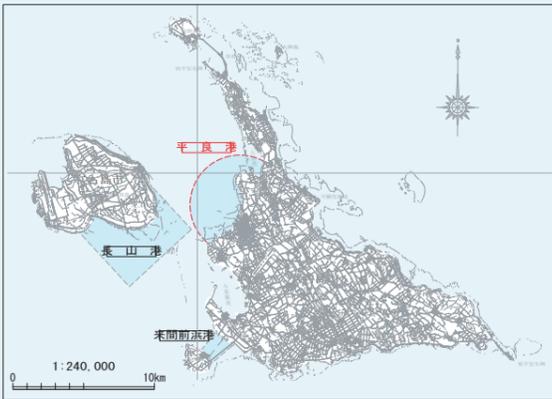


土地造成及び土地利用計画の変更
 危険物取扱施設用地 2.6ha (今回計画)

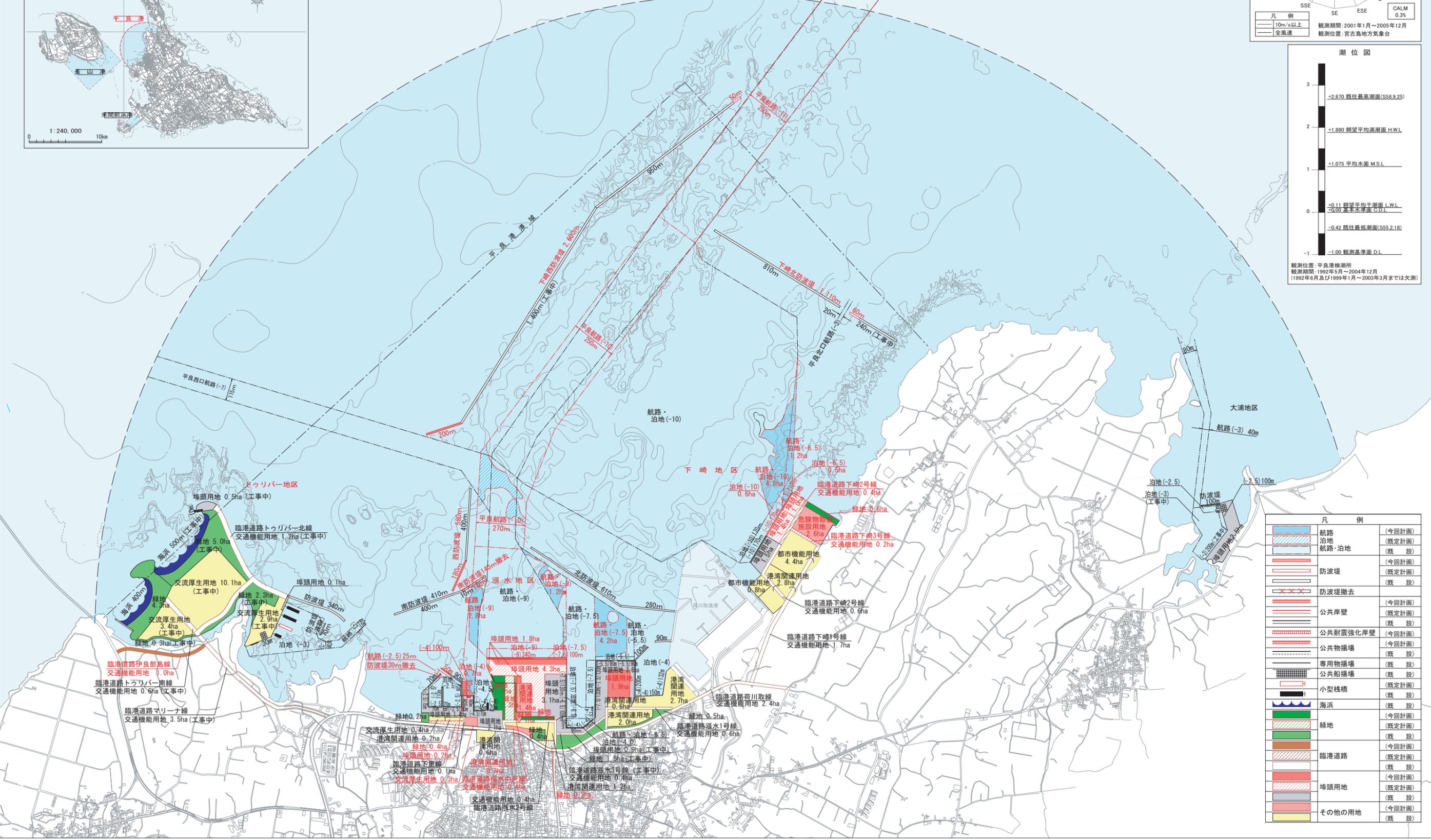
公共埠頭計画の変更
 -10m岸壁 1 バース 170m (既定計画)
 -6.5m岸壁 1 バース 110m (今回計画)

平良港港湾計画図

1:10,000
0 200 500 1,000



平良港港湾区域



凡例	
	航路 (今回計画)
	泊地 (既定計画)
	航路・泊地 (既設)
	防波堤 (今回計画)
	防波堤撤去 (既定計画)
	防波堤撤去 (既設)
	公共岸壁 (今回計画)
	公共岸壁 (既定計画)
	公共耐震強化岸壁 (今回計画)
	公共物揚場 (既定計画)
	専用物揚場 (既設)
	公共船揚場 (既設)
	小型棧橋 (既定計画)
	海浜 (既設)
	緑地 (今回計画)
	緑地 (既定計画)
	臨港道路 (今回計画)
	臨港道路 (既設)
	埠頭用地 (今回計画)
	埠頭用地 (既定計画)
	その他の用地 (今回計画)
	その他の用地 (既定計画)